



## (企)ワーカーズ・コレクティブ みらい 3月23日に 配送業務スタート!

ワーカーズコレクティブ千葉県連合会と生活クラブ生協とで、松戸にも配送ワーカーズを立ちあげることが確認されたのが08年の初夏でした。

昨年7月の起業講座に続いて、今年1月21日、柏センターで連合会主催の中級講座が開催され、軽自動車での配送事業(午前・午後の2便)について話しました。柏センターの(企)わーかー

ず・あいの午後便の積み込みの様子も見学。「添乗研修」の申し入れがあり、「あい」のメンバーが実際に配送する半日コースの添乗も体験してもらいました。これで準備は万全…。生活クラブ生協松戸センターで2月18日、不安を抱えながらも「やるっきゃない!」との思いの(企)W.Coみらいの設立総会が開かれました。

法人格「企業組合」や貨物軽自動車運輸免許の取得が優先したため、議案審議はすでに終わっていましたので、ワーカーズ・コレクティブとしての設立総会は、議案事項の再確認の場となりました。生活クラブ生協やW.Co千葉県連合会、「NPOせっけんの街」などの関連団体が参加し、「紙ふうせん」のパーティー料理を楽しみながら「W.Coみらい」の門出を祝いました。

わーかーず・あい 浜 たづ子

# わくわく work ちば

NPOワーカーズコレクティブ千葉県連合会

No. **80**  
2009. 3



## 共感し合える心や体を育てる ワーカーズ・コレクティブ ゆうウェルネス



学習塾部門

2月21日、北小金駅前に、学習塾・整体・イージーキッチンという多様な事業の「W.Co ゆうウェルネス」が誕生。料理教室や体験学習などにも活動の場を広げています。

### 子育ては、まず共感から

30数年前、東京都の公立中学校の英語教師として勤務しました。つぶらな瞳のあの子どもが、やがて校内暴力や非行、いじめ、不登校、拒食症、自殺などをやる現実。片や、悩みながらも元気にリーダーシップをとる子もいる。この違いはどこから来るのだろうか。家庭環境の違いだろうか。しかし、違うのは当たり前。これらの問題は、子どもたちからの大人社会への体を張った問題提起だろう。どうしたらどの子どもも持てる力を生き生きと発揮し、楽しく過ごせるのだろうか。子どもが幸せに育つ必要条件とは何だろうか、ずっと考えてきました。その中で、「どの子どももわが子」という気持ちで、また子どもの視点に立って考え、接するところから共感が生まれ、新しい発想や人の気持ちがわかる子育てにつながるのではないかとというのが私の思いでした。

松戸に引っ越してから、自分のキャリアも活かされ、地域の役にも立てると、自宅を開放して塾を10数年やってきました。その間、社会教育関係団体ボランティア、PTA、子ども会活動などを通して、親御さんたちと一緒に、より良い子育て環境を探ってきました。「子どもが下の子の世話をするようになった」「学校の成績が上がった」「何でもやってみようとするようになった」など、成果が見られました。子どもたちを取り巻く状況が良ければ、学校教育は十分力を発揮できるでしょう。家庭教育、地域教育の中身がもっと充実するように働きかける必要があると考えています。

### みんなに背中を押され、勇気をもらって

昨年4月に事務所を借りて活動していこうと考え、物件探しを開始。同時に、私がやろうとしていることが必要とされているのかどうか、3人の保護者に聞いてみました。「止まって子育てのことを考えられる時間、空間は必要」との言葉に勇気を頂きました。

その頃、生活クラブ生協で配布されたチラシでワーカーズ・コレクティブという働き方を知り、松戸センターに問い合わせたところ、「自然の食卓」を紹介されました。10月に、私の考えている事業はW.Coで運営できるのかどうか、相談に行きま

した。「ワーカーズで塾というのは今までにないが、おもしろい。進学塾向けのお弁当配食なども考えられる」などとアドバイスをいただき、ガイドブックも読んで勉強しました。そこに載っていた「編集ワーカーズ・くれよん」に電話でチラシの作成依頼をし、事務所で会ってチラシやリーフレット、W.Coについての相談もでき、背中を押していただきました。

### ワーカーズ・コレクティブとしての出発

仲間集めの声かけをし、2人がメンバーに加わり、設立に向けての準備に取りかかりました。気持ちの温度差があるので、「自然の食卓」や柏センターでW.Coの働き方を実際に見て自分たちのイメージ作りをしました。今年1月19日にW.Co中級講座を3人で受講。2月21日には設立総会にこぎつけました。3月5日、W.Coになって初めての料理教室を開催。11人の参加でまずまずの滑り出しでした。単なる料理教室ではなく、食材の100%活用、生ごみの肥料化、食器洗いには廃食油せっけんを使い、地球環境も考えた料理教室として行っていきます。また、大人だけではなく、子どもにも料理を通して学び、準備から後始末までできるような料理教室シリーズを企画しています。

最近感じていることは、大手進学塾でも実物に触れることが少なく、実際に食塩やホウ酸などの結晶を見たことがない、ばねの伸びと重さの関係を見たことがない、釘とコイルで電磁石を作ったことがないなどの現状を知り、驚いています。高校生以上に行うような、テキストや資料集のみのお手軽な講義では、理解も深まらず、学ぶ楽しさは感じられないでしょう。子ども時代だからこそ、実物をなるべく多く見たり、聞いたり、触ったりする機会が大切です。

その他、整体部門でも不調が改善され、家族関係が良くなったなどの口コミでお客様が増えること、料理教室部門でも市の保健センターの保健師さんと連携し、「健康21」プロジェクトに貢献できたと考えています。

W.Coゆうウェルネス代表 橋本裕子



整体部門

\*ワーカーズ・コレクティブ(W.Co)とは…  
同じ目的を持った仲間が作り出す、地域に有用な事業/出資・労働・経営を全員で担う/働くことを通し、社会的・経済的・精神的自立をめざす

## ワーカーズ弁当・ポスター完成記念学習会 2/28 ワーコレに必要な営業力とは?



作ったというブランド)安全(情報公開し判断材料を提供)安定(味、量、形など)を考慮した上で、確実に利益を上げる商品の提供が必要。品質安定のためにはアウトソーシングやセントラルキッチン方式\*を利用することも1つの方法」など、お弁当を営業の視点から捉え直す

ヒントをいただきました。価格設定(コストバランス)の方法やP/L表\*など、具体的な内容もあり、参考になりました。小林さんからは、長年の生産現場経験から中国製餃子事件の根底には労使紛争があると直感したこと、職場では5S(整理・整頓・清潔・清掃・整備)を守り、楽しく働くことが良い商品作りにつながる、とのお話がありました。試食も含め、短い時間でしたが、現場に即役立つ、充実した学習会でした。

ハーブ 奈良収子

\*セントラルキッチン方式: レシピや材料を指定して専門業者に外注し、1カ所の工場で作って冷凍。温めるだけでOK。人手がかからず、衛生的、コストが削減できる。  
\*P/L表: 損益計算書(一定期間の収入と支出の内訳を一覧表であらわしたもの)

### 運営委員会報告

- ★生活クラブ生協の支部総会やブロック総代会に各事業所から参加
- ★下総ブロックで、生活クラブ生協と共催で起業講座を予定
- ★設立支援部企画の会員研修「接客セミナー」を予定
- ★(企)W.Coみらい設立総会 2/18
- ★W.Coゆうウェルネス設立総会 2/21

### 冊子『共に育つ』(WNJ発行)

ワーカーズ・コレクティブの子育て支援事例を紹介

WNJでは2005年に初めて、ワーカーズ・コレクティブをさまざまな角度から紹介した冊子『地域に必要なものをつくり になりたいものになる』を作りました。具体的な事例が好評で、2007年には障がい者と共に働く現場を紹介した『共に働く』、続いて今年2月、働く女性の増加、核家族化・少子化などで、子育てが困難な世代にワーカーズ・コレクティブが行う子育て支援を「派遣保育、世代交流、多機能保育、行政との協働、事業所内

保育、障がい児保育、文化・情報、ひろば、ワーカーズ・コレクティブどうしの連携」に分けて、16例を紹介した『共に育つ』を発行しました。ひろば事業の事例として、地域の人を巻き込んで食育と親支援を行う「W.Coういず」が取り上げられています。

編集ワーカーズ・くれよん 鈴木美智子

